

第2章 奈良県の経済動向

1 概況

(1) 奈良県の面積及び人口

本県の総面積は 3,690.94km²、うち可住地面積は約 856km² で総面積の 23.2 % に過ぎない。なお、総面積の全国に占める割合は約 1 %、全国第 40 位である。

平成 30 年 10 月 1 日現在の本県の人口は約 134.0 万人で全国総人口の約 1.1 % を占める。対平成 29 年の人口増減率は△ 0.61 % であった。

(2) 県内事業所数、従業者数(平成28年6月1日現在)

事業所数は 46,487 事業所で、従業者数は 434,135 人となっている。

業種別構成比では、事業所数で「卸売業，小売業」の 25.9 %、「宿泊業，飲食サービス業」の 11.4 %、「製造業」の 10.0 % が高く、従業者数で「卸売業，小売業」の 21.3 %、「医療，福祉」の 18.6 %、「製造業」の 16.0 % が高くなっている。

表 1 - 2 < 県内業種別事業所数、従業者数 >

産業大分類	事業所数					従業者数(注)				
	実数		増減率	構成比		実数		増減率	構成比	
	H26基礎	H28活動		H26基礎	H28活動	H26基礎	H28活動		H26基礎	H28活動
A~R 全産業(公務を除く)	48,034	46,487	△ 3.2	100.0%	100.0%	442,684	434,135	△ 1.9	100.0%	100.0%
A~B 農 林 漁 業	141	131	△ 7.1	0.3%	0.3%	1,217	1,242	2.1	0.3%	0.3%
C 鉱業，採石業，砂利採取業	5	3	△ 40.0	0.0%	0.0%	60	63	5.0	0.0%	0.0%
D 建設業	3,851	3,667	△ 4.8	8.0%	7.9%	22,182	21,679	△ 2.3	5.0%	5.0%
E 製造業	5,030	4,651	△ 7.5	10.5%	10.0%	72,835	69,498	△ 4.6	16.5%	16.0%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	37	35	△ 5.4	0.1%	0.1%	1,467	961	△ 34.5	0.3%	0.2%
G 情報通信業	279	267	△ 4.3	0.6%	0.6%	2,173	2,198	1.2	0.5%	0.5%
H 運輸業，郵便業	745	737	△ 1.1	1.6%	1.6%	19,217	19,200	△ 0.1	4.3%	4.4%
I 卸売業，小売業	12,538	12,047	△ 3.9	26.1%	25.9%	94,240	92,426	△ 1.9	21.3%	21.3%
J 金融業，保険業	703	689	△ 2.0	1.5%	1.5%	11,047	10,483	△ 5.1	2.5%	2.4%
K 不動産業，物品賃貸業	3,107	2,870	△ 7.6	6.5%	6.2%	10,535	10,073	△ 4.4	2.4%	2.3%
L 学術研究，専門・技術サービス業	1,555	1,513	△ 2.7	3.2%	3.3%	7,593	7,528	△ 0.9	1.7%	1.7%
M 宿泊業，飲食サービス業	5,349	5,278	△ 1.3	11.1%	11.4%	45,243	44,265	△ 2.2	10.2%	10.2%
N 生活関連サービス業，娯楽業	4,231	4,122	△ 2.6	8.8%	8.9%	22,274	22,449	0.8	5.0%	5.2%
O 教育，学習支援業	1,767	1,790	1.3	3.7%	3.9%	21,486	18,445	△ 14.2	4.9%	4.2%
P 医療，福祉	4,251	4,378	3.0	8.8%	9.4%	76,693	80,577	5.1	17.3%	18.6%
Q 複合サービス事業	424	420	△ 0.9	0.9%	0.9%	5,197	5,505	5.9	1.2%	1.3%
R サービス業(他に分類されないもの)	4,021	3,889	△ 3.3	8.4%	8.4%	29,225	27,543	△ 5.8	6.6%	6.3%

(注)男女別の不詳を含む。

「H26基礎」は平成26年7月1日時点「経済センサス基礎調査」の確報

「H28活動」は平成28年6月1日時点「経済センサス活動調査」の確報

(資料：「平成28年経済センサス活動調査(確報)」)

(3) 奈良県工業の位置

表1-3 <本県製造業の全国及び近畿に占める割合等>

表1-3<本県製造業の全国及び近畿に占める割合等>

府県名	事業所数(従業員4人以上の事業所)			従業者数(従業員4人以上の事業所)			製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)		
	事業所 (前年比)	全国	近畿	人 (前年比)	全国	近畿	百万円 (前年比)	全国	近畿
奈良県	1,881 (△ 2.2%)	1.0% 32位	5.2% 6位	61,556 (△ 1.1%)	0.8% 37位	4.7% 6位	2,091,690 (15.0%)	0.7% 36位	3.9% 7位
福井県	2,124 (△ 1.7%)	1.1% 28位	5.9% 5位	73,300 (0.5%)	1.0% 31位	5.7% 5位	2,106,160 (3.1%)	0.7% 35位	4.0% 6位
滋賀県	2,691 (1.4%)	1.4% 24位	7.4% 4位	158,175 (1.9%)	2.1% 20位	12.2% 3位	7,793,596 (6.8%)	2.4% 14位	14.7% 3位
京都府	4,215 (△ 4.2%)	2.2% 17位	11.6% 3位	144,940 (0.7%)	1.9% 22位	11.2% 4位	5,735,817 (5.3%)	1.8% 20位	10.8% 4位
大阪府	15,784 (△ 1.3%)	8.4% 1位	43.6% 1位	443,034 (1.6%)	5.8% 2位	34.2% 1位	16,995,712 (7.4%)	5.3% 3位	32.0% 1位
兵庫県	7,798 (△ 2.5%)	4.1% 6位	21.5% 2位	361,956 (1.5%)	4.7% 5位	27.9% 2位	15,665,881 (3.7%)	4.9% 5位	29.5% 2位
和歌山県	1,699 (△ 2.1%)	0.9% 37位	4.7% 7位	53,037 (1.1%)	0.7% 42位	4.1% 7位	2,664,674 (2.0%)	0.8% 31位	5.0% 5位
近畿合計	36,192 (△ 1.8%)	19.2%		1,295,998 (1.3%)	16.8%		53,053,530 (5.8%)	16.6%	
全国合計	188,249 (△ 1.6%)			7,697,321 (1.7%)			319,166,725 (5.7%)		

注：事業所数・従業者数は平成28年、製造品出荷額等は平成27年の値

「全国」及び「近畿」欄の上段は構成比(%)、下段は順位

(資料：「平成28年経済センサスー活動調査(確報)」)

(4) 奈良県商業の位置

表1-4 <本県商業の全国及び近畿に占める割合等(平成26年)>

府県名	商店数			従業者数			年間販売額等		
	店 (対前回増加率)	全国	近畿	人 (対前回増加率)	全国	近畿	百万円 (対前回増加率)	全国	近畿
奈良県	13,460 (△ 7.2%)	0.9% 40位	5.2% 6位	93,360 (△ 4.3%)	0.8% 37位	4.8% 5位	2,126,234 (△ 0.9%)	0.4% 40位	2.3% 6位
福井県	12,021 (△ 9.6%)	0.8% 41位	4.7% 7位	73,751 (△ 4.1%)	0.7% 41位	3.8% 7位	2,230,298 (△ 2.9%)	0.4% 39位	2.4% 5位
滋賀県	14,008 (△ 8.5%)	1.0% 38位	5.4% 5位	103,138 (△ 2.6%)	0.9% 32位	5.3% 4位	2,516,575 (0.0%)	0.5% 37位	2.8% 4位
京都府	34,767 (△ 7.0%)	2.4% 12位	13.5% 3位	249,668 (△ 1.9%)	2.2% 12位	12.8% 3位	7,396,170 (△ 0.7%)	1.3% 13位	8.1% 3位
大阪府	107,650 (△ 10.5%)	7.3% 2位	41.7% 1位	913,217 (△ 6.5%)	8.2% 2位	46.8% 1位	61,660,209 (2.6%)	11.2% 2位	67.7% 1位
兵庫県	61,597 (△ 7.0%)	4.2% 6位	23.8% 2位	434,283 (△ 2.6%)	3.9% 8位	22.3% 2位	13,269,264 (2.7%)	2.4% 8位	14.6% 2位
和歌山県	14,871 (△ 11.2%)	1.0% 37位	5.8% 4位	82,554 (△ 2.8%)	0.7% 40位	4.2% 6位	1,866,101 (0.6%)	0.3% 42位	2.0% 7位
近畿合計	258,374 (△ 9.0%)	17.5%		1,949,971 (△ 4.5%)	17.6%		91,064,851 (2.0%)	16.6%	
全国合計	1,472,658 (△ 8.7%)			11,105,669 (△ 4.0%)			548,237,119 (△ 1.8%)		

注：「全国」及び「近畿」欄の上段は構成比(%)、下段は順位

(資料：経済産業省「商業統計調査」)

2 県内総生産

平成28年度の県内総生産（生産側）は、名目で3兆6,507億円、対前年度2.6%増（27年度1.0%増）と4年連続でプラス成長となった。実質では3兆5,554億円、対前年度比2.3%増（同0.2%減）と3年ぶりのプラス成長となった。

名目値の増加率を経済活動別の寄与度でみると、建設業、電気・ガス・水道等、製造業などがプラス、卸売・小売業、金融・保険業などがマイナスに寄与した。

※県内総生産：県内各経済部門の生産活動によって新たに付加された価値の合計額のこと。

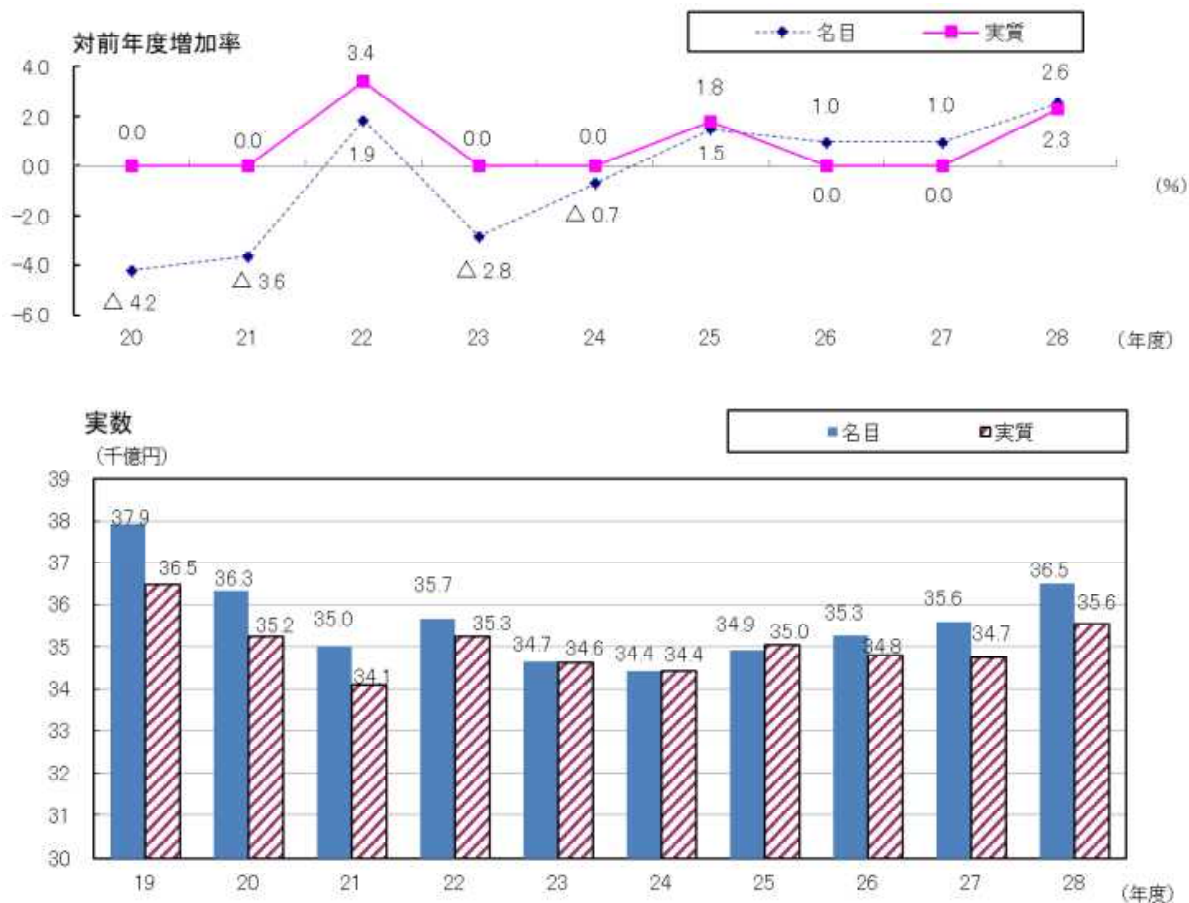
産出額から中間投入額（原材料費・燃料費など）を控除したもの。

表1-5 <経済活動別県内総生産（名目）>

項 目	実数(百万円)		対前年度増加率(%)		構成比(%)		増加寄与度(%)	
	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
1. 農林水産業	21,839	24,475	4.7	12.1	0.6	0.7	0.03	0.07
（1）農業	19,385	21,945	9.2	13.2	0.5	0.6	0.05	0.07
（2）林業	1,978	2,024	△ 20.6	2.3	0.1	0.1	△ 0.01	0.00
（3）水産業	476	506	△ 21.3	6.3	0.0	0.0	△ 0.00	0.00
2. 鉱業	937	1,134	36.2	21.0	0.0	0.0	0.01	0.01
3. 製造業	649,499	671,058	0.4	3.3	18.2	18.4	0.07	0.61
（1）食料品	98,209	119,027	△ 1.8	21.2	2.8	3.3	△ 0.05	0.58
（2）繊維製品	21,807	25,642	△ 19.7	17.6	0.6	0.7	△ 0.15	0.11
（3）パルプ・紙・紙加工品	18,095	19,942	33.8	10.2	0.5	0.5	0.13	0.05
（4）化学	38,949	45,416	△ 9.8	16.6	1.1	1.2	△ 0.12	0.18
（5）石油・石炭製品	1,311	1,714	△ 10.3	30.7	0.0	0.0	△ 0.00	0.01
（6）窯業・土石製品	11,378	12,676	9.0	11.4	0.3	0.3	0.03	0.04
（7）一次金属	19,615	21,872	17.1	11.5	0.6	0.6	0.08	0.06
（8）金属製品	51,667	52,695	33.1	2.0	1.5	1.4	0.36	0.03
（9）はん用・生産用・業務用機械	161,698	140,425	11.5	△ 13.2	4.5	3.8	0.47	△ 0.60
（10）電子部品・デバイス	×	167	×	×	×	0.0	×	×
（11）電気機械	25,581	20,318	△ 44.5	△ 20.6	0.7	0.6	△ 0.58	△ 0.15
（12）情報・通信機器	×	1,145	×	×	×	0.0	×	×
（13）輸送用機械	53,786	53,794	△ 8.5	0.0	1.5	1.5	△ 0.14	0.00
（14）印刷業	24,895	32,154	72.0	29.2	0.7	0.9	0.30	0.20
（15）その他の製造業	119,103	124,071	△ 1.2	4.2	3.3	3.4	△ 0.04	0.14
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	88,270	104,912	6.1	18.9	2.5	2.9	0.14	0.47
（1）電気業	41,770	52,897	12.1	26.6	1.2	1.4	0.13	0.31
（2）ガス・水道・廃棄物処理業	46,500	52,015	1.3	11.9	1.3	1.4	0.02	0.15
5. 建設業	170,386	207,044	△ 9.3	21.5	4.8	5.7	△ 0.49	1.03
6. 卸売・小売業	318,039	305,341	5.1	△ 4.0	8.9	8.4	0.44	△ 0.36
7. 運輸・郵便業	174,302	177,404	12.0	1.8	4.9	4.9	0.53	0.09
8. 宿泊・飲食サービス業	88,014	98,712	△ 9.8	12.2	2.5	2.7	△ 0.27	0.30
9. 情報通信業	89,716	89,614	△ 1.2	△ 0.1	2.5	2.5	△ 0.03	△ 0.00
（1）通信・放送業	83,495	83,994	△ 0.8	0.6	2.3	2.3	△ 0.02	0.01
（2）情報サービス・映像音声文字情報制作業	6,221	5,620	△ 6.5	△ 9.7	0.2	0.2	△ 0.01	△ 0.02
10. 金融・保険業	185,859	176,834	1.8	△ 4.9	5.2	4.8	0.09	△ 0.25
11. 不動産業	553,276	559,208	1.6	1.1	15.5	15.3	0.25	0.17
（1）住宅貸業	520,439	523,300	1.3	0.5	14.6	14.3	0.19	0.08
（2）その他の不動産業	32,837	35,908	6.8	9.4	0.9	1.0	0.06	0.09
12. 専門・科学技術・業務支援サービス業	165,723	169,300	2.5	2.2	4.7	4.6	0.11	0.10
13. 公務	236,400	237,464	△ 1.0	0.5	6.6	6.5	△ 0.07	0.03
14. 教育	183,293	189,375	1.9	3.3	5.1	5.2	0.09	0.17
15. 保健衛生・社会事業	394,099	408,272	3.9	3.6	11.1	11.2	0.42	0.40
16. その他のサービス	212,688	210,575	△ 4.4	△ 1.0	6.0	5.8	△ 0.28	△ 0.06
17. 小計	3,532,340	3,630,722	1.1	2.8	99.2	99.5	1.05	2.76
18. 輸入品に課される税・関税	58,625	52,162	△ 1.5	△ 11.0	1.6	1.4	△ 0.03	△ 0.18
19. (控除) 総資本形成に係る消費税	31,235	32,166	8.7	3.0	0.9	0.9	0.07	0.03
20. 県内総生産 (=GDP) (17+18-19)	3,559,730	3,650,718	1.0	2.6	100.0	100.0	0.96	2.56

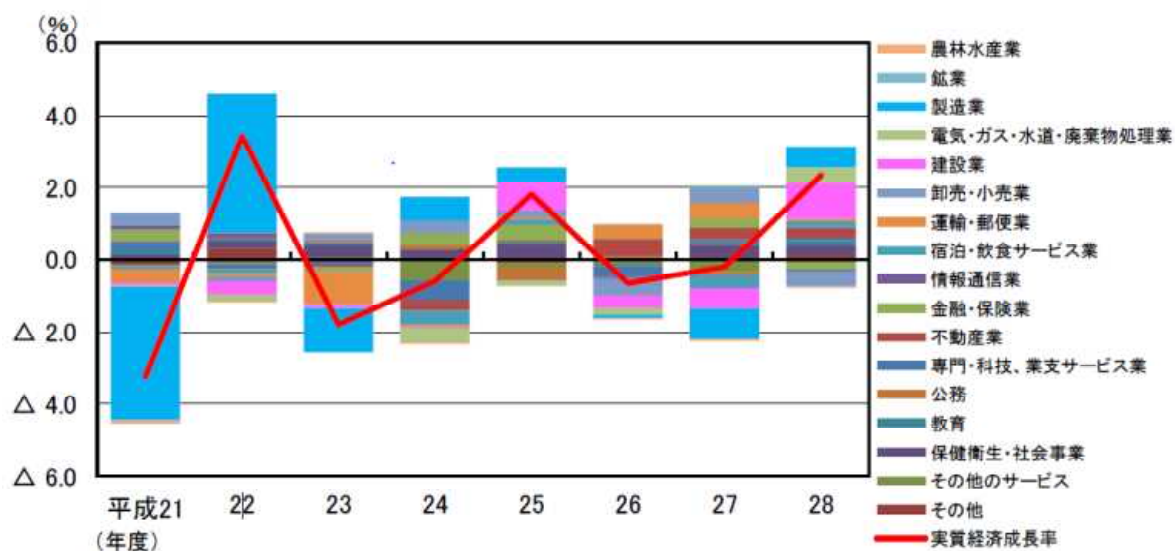
(資料：県統計課「奈良県県民経済計算」)

図1-2 < 県内総生産（生産側、名目・実質）の推移 >



(資料：県統計課「奈良県県民経済計算」)

図1-3 < 経済活動別寄与度（実質）の推移 >



(資料：県統計課「奈良県県民経済計算」)

3 一般動向

本県経済を個々の指標で見ると、生産面では平成30年の鉱工業生産指数（原指数）が年平均で99.7（平成27年＝100）、前年比2.3%増となった。

消費面では、平成30年において、大型小売店販売額（全店ベース）は前年比2.0%減、新車登録台数は0.6%減、新設住宅着工戸数は4.0%減となった。

雇用面では、平成30年の新規求人倍率（季節調整値）が2.19倍で前年比0.22ポイント上昇、有効求人倍率（季調値）は1.46倍で同0.17ポイント上昇となった。

図1-4 < 鉱工業生産指数の推移（平成27＝100） >

鉱工業指数 全国・近畿・奈良県の推移

《生産指数》

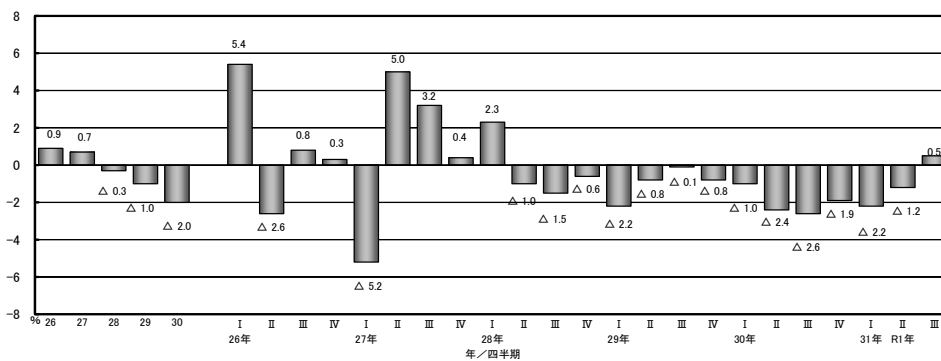
時系列	原 指 数						季 節 調 整 済 指 数						
	全 国		近 畿		奈 良 県		全 国		近 畿		奈 良 県		
	指 数	前年比 (%)	指 数	前年比 (%)	指 数	前年比 (%)	指 数	前期比 前月比 (%)	指 数	前期比 前月比 (%)	指 数	前期比 前月比 (%)	
26年	101.2	2.1	101.2	3.1	103.9	▲ 2.6	I	103.6	2.0	102.1	1.9	106.3	▲ 2.4
							II	100.6	▲ 2.9	101.3	▲ 0.8	104.3	▲ 1.9
							III	100.1	▲ 0.5	101.1	▲ 0.2	102.8	▲ 1.4
							IV	100.2	0.1	100.3	▲ 0.8	102.6	▲ 0.2
27年	100.0	▲ 1.2	100.0	▲ 1.2	100.0	▲ 3.8	I	100.7	0.5	101.6	1.3	105.2	2.5
							II	99.8	▲ 0.9	99.4	▲ 2.2	100.7	▲ 4.3
							III	99.8	0.0	100.6	1.2	95.9	▲ 4.8
							IV	99.7	▲ 0.1	98.8	▲ 1.8	99.0	3.2
28年	100.0	0.0	100.8	0.8	98.1	▲ 1.9	I	99.7	0.0	99.4	0.6	99.0	0.0
							II	99.0	▲ 0.7	100.0	0.6	98.2	▲ 0.8
							III	100.3	1.3	101.0	1.0	98.6	0.4
							IV	101.7	1.4	102.6	1.6	97.0	▲ 1.6
29年	103.1	3.1	103.3	2.5	97.5	▲ 0.6	I	101.3	▲ 0.4	101.8	▲ 0.8	96.9	▲ 0.1
							II	103.2	1.9	103.8	2.0	96.6	▲ 0.3
							III	103.2	0.0	103.7	▲ 0.1	96.3	▲ 0.3
							IV	104.4	1.2	103.8	0.1	99.8	3.6
30年	104.2	1.1	104.2	0.9	99.7	2.3	I	103.5	▲ 0.9	104.0	0.2	98.7	▲ 1.1
							II	104.3	0.8	104.2	0.2	100.8	2.1
							III	103.6	▲ 0.7	103.6	▲ 0.6	98.7	▲ 2.1
							IV	105.0	1.4	105.0	1.4	100.5	1.8
31年							I	102.4	▲ 2.5	101.5	▲ 3.3	95.9	▲ 4.6
平成30年9月	103.8	▲ 2.5	103.5	▲ 2.1	97.7	▲ 2.4	103.5	▲ 0.1	103.4	▲ 0.9	94.4	▲ 6.2	
10月	109.4	4.2	111.4	5.6	105.8	5.1	105.6	2.0	106.5	3.0	101.3	7.3	
11月	108.6	1.9	108.9	2.0	103.6	2.9	104.6	▲ 0.9	104.5	▲ 1.9	101.0	▲ 0.3	
12月	104.6	▲ 2.0	104.3	▲ 2.2	98.2	▲ 4.8	104.7	0.1	103.9	▲ 0.6	99.3	▲ 1.7	
平成31年1月	96.3	0.7	93.6	▲ 0.5	89.1	0.5	102.1	▲ 2.5	102.5	▲ 1.3	97.8	▲ 1.5	
2月	99.9	▲ 1.1	98.6	▲ 1.7	96.0	0.0	102.8	0.7	102.4	▲ 0.1	97.2	▲ 0.6	
3月	110.9	▲ 4.3	111.1	▲ 6.4	103.1	▲ 8.7	102.2	▲ 0.6	99.6	▲ 2.7	92.7	▲ 4.6	
4月	100.6	▲ 1.1	98.6	▲ 2.3	97.2	▲ 3.0	102.8	0.6	101.3	1.7	98.1	5.8	

r…改訂 p…速報

全国値は経済産業省、近畿値は近畿経済産業局公表の数値を使用。
平成27年（平均）=100

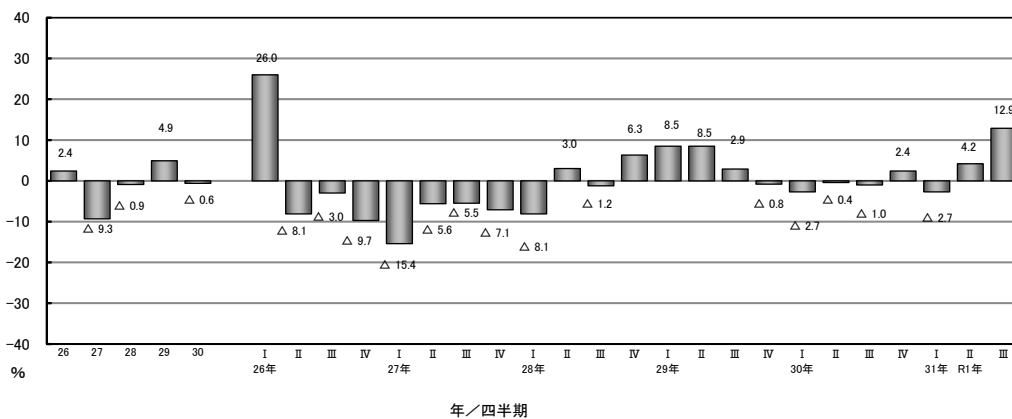
（資料：県統計課「奈良県鉱工業指数」）

図1-5 <百貨店・スーパー販売動向（前年同期比）>



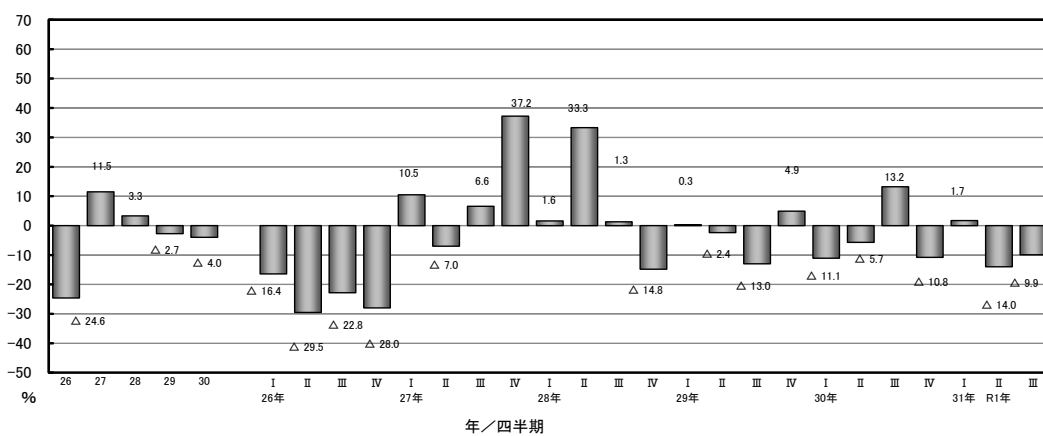
(資料：近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」)

図1-6 <新車登録台数（前年同期比）>



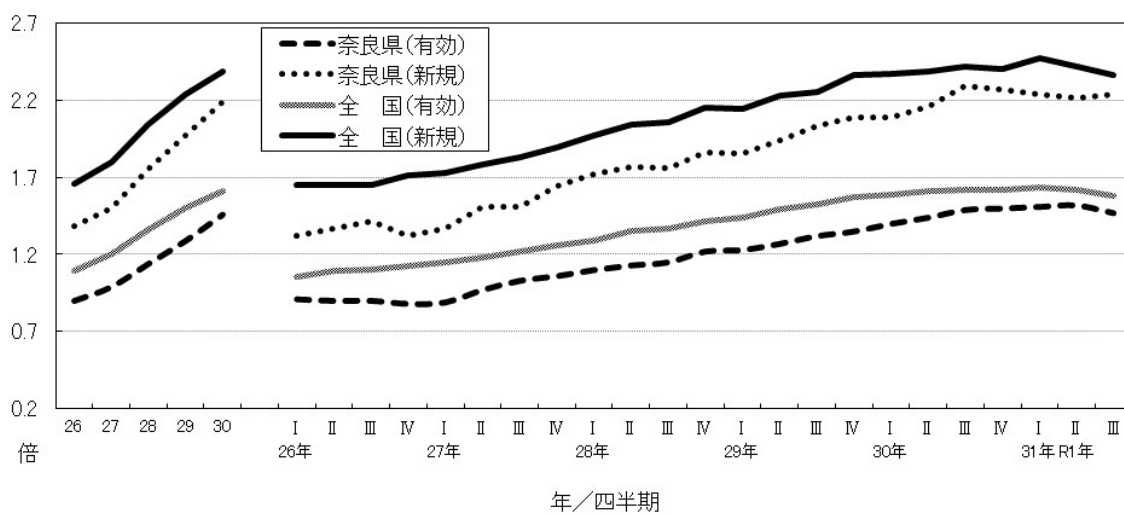
注) 平成 29 年以降の数値は近畿経済産業局総務企画部調査課への聞き取りによる。
(資料：近畿経済産業局「近畿経済の動向」)

図1-7 <新設住宅着工戸数（前年同期比）>



(資料：近畿経済産業局「近畿経済の動向」)

図1-8 <求人倍率の推移（季節調整値）>



(資料：近畿経済産業局「近畿経済の動向」)

4 金 融

(1) 信用保証制度

信用保証制度とは、一般に物的及び人的担保力に劣る中小企業が、市中の金融機関から資金の借入れを行う際に、都道府県等に設立されている信用保証協会が保証を行うことで信用力を補完するものである。

表 1-6 <奈良県信用保証協会の保証状況>

(単位:件,百万円)

項目	年度	H26	H27	H28	H29	H30
	保証申込(A)	件数	6,622	6,460	6,133	5,611
金額		74,173	81,447	80,733	72,979	80,466
保証承諾(B)	件数	6,260	6,175	5,782	5,375	6,145
	金額	67,641	77,421	74,716	69,093	76,450
(B)/(A)	件数	94.5%	95.6%	94.3%	95.8%	97.1%
	金額	91.2%	95.1%	92.5%	94.7%	95.0%

表 1-7 <信用保証債務残高>

(単位:百万円)

表 1-8 <代位弁済>

(単位:百万円)

年度	残高	対前年増加額		年度	代位弁済額	代位弁済率
		金額	比率			
H26	242,382	-11,064	-4.4%	H26	3,588	1.47%
H27	233,661	-8,721	-3.6%	H27	2,689	1.13%
H28	224,328	-9,333	-4.0%	H28	2,852	1.26%
H29	214,299	-10,030	-4.5%	H29	2,936	1.35%
H30	213,558	-741	-0.3%	H30	2,814	1.32%

(2) 貸 金 業

改正貸金業法の施行による影響や、借受者による利息返還請求の増加等により、厳しい経営環境にある貸金業界では、全国的に貸金業者数が減少。県知事登録貸金業者においても、平成30年度末時点での業者数は7業者で減少傾向にある。

表 1-9 <奈良県における貸金業の登録業者数の推移>

(単位:業者)

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
奈良県知事登録業者数		9	8	8	8	7

(資料:県地域産業課)

注 知事登録:1つの都道府県の区域内にのみ営業所又は事業所を設置し事業を行う。

5 企業倒産

平成30年中の県下の企業倒産件数は、昨年に比べて22件増加した。販売不振などを原因とする不況型の倒産が引き続き多い傾向にある。

表1-10 <倒産件数及び負債総額>

(単位:件,百万円)

区分		年	H26	H27	H28	H29	H30
本県	件数		115	120	92	78	100
	負債総額		10,496	17,210	5,225	4,844	23,977
全国	件数		9,731	8,812	8,446	8,405	8,235
	負債総額		1,874,065	2,112,382	2,006,119	3,167,637	1,485,469

(資料:東京商工リサーチ)

表1-11 <産業別倒産件数(県内)>

(単位:件)

区分	年	H26	H27	H28	H29	H30
一次産業		1	4	1	1	0
建設業		25	21	26	13	18
製造業		17	12	17	9	10
卸売業		14	5	10	11	21
小売業		18	30	16	12	13
金融・保険業		0	0	0	1	0
不動産業		2	1	1	1	5
運輸・通信業		3	5	3	2	3
サービス業他		35	42	18	28	30
計		115	120	92	78	100

(資料:東京商工リサーチ)

表1-12 <原因別倒産件数(県内)>

(単位:件)

区分	年	H26	H27	H28	H29	H30
放漫経営		1	2	0	2	5
過小資本		0	1	0	8	12
他社倒産の波紋		3	2	2	1	3
既往のシワ寄せ		13	13	12	13	15
偶発的要因		0	1	0	0	1
信用性低下		0	1	0	1	1
販売不振		98	99	78	52	61
売掛金回収難		0	1	0	0	1
在庫状況悪化		0	0	0	0	0
設備投資過大		0	0	0	1	1
計		115	120	92	78	100

(資料:東京商工リサーチ)

図1-13 <企業倒産の推移>

